

「ユニセフ・南スーダン現地報告会」

2011年7月、長い紛争の末に独立を果たした世界で一番若い国南スーダン。しかし、2013年12月に武力紛争が勃発して以来、子どもたちは再び紛争の渦に巻き込まれています。家を追われ国内避難民となった子どもは約90万人。今年に入り、一時は休息に向かうことが期待された内戦でしたが、7月再び激化し、子どもの兵士が増加しつつある現状に、大きな懸念が広がっています。

今回は、内戦の激化を受けケニアのナイロビに退避し支援活動を続ける南スーダン事務所・幸村真希さんの一時帰国に際し、直接その現状をお伝えする報告会を開催いたします。

- 日 時● 9月6日(火) 18:00~19:30
- 会 場● コープこうべ住吉事務所(神戸市東灘区住吉本町1-3-19)
JR住吉駅北へ徒歩2分
- 報告者● 幸村真希さん(南スーダン事務所モニタリング・評価担当)
- 定 員● 100人(無料)

世界で一番新しい国・南スーダンは、独立後も内紛が続き先が見えない状況にあります。心がくじけそうになる現実ですが、そこに生きる子どもたちに何の罪もありません。ユニセフは限りなく困難な中でも支援活動を続け、日本のみなさんからいただいた思いを届けます。子どもたち、そして今日も現場で戦う同僚たちの姿を伝えたいと思います。

幸村真希(こうむらまき)

2010年大阪大学大学院国際公共政策研究科卒。(特活)アドラジャパン入社。ミャンマー、ハイチ、南スーダンで活動。2013年ユニセフコートジボワール事務所で、HIV/AIDS・青少年活動支援、2015年6月から南スーダンにて勤務。2016年7月からは、情勢悪化を受けナイロビで活動中。



コートジボワールにて

主催・申し込み：兵庫県ユニセフ協会
後援：コープこうべ

電話 078-435-1605